

帖佐校区コミュニティ協議会だより

<p>第1号 平成27年11月15日発行 校区世帯数 2,695 戸 (平成27年5月1日現在)</p>	<p style="text-align: center;"> (題字 田島一美)</p>	<p>発行: 帖佐校区 コミュニティ 協議会 会長 竹下敬喜</p>
--	---	--



○会長あいさつ

平成27年8月11日は帖佐校区では記念すべき期日となりました。

帖佐校区コミュニティ協議会が設立された日であります。皆様方それぞれに思いがあり、協議会設立について、検討を続けてまいりました。構成としては四つの専門部を設け、役員就任も終わり少しずつ目標に向かって動き始めております。

今後は地区の住民の皆様をはじめ関係の方々のご協力ご支援をいただきながら希望に満ちた笑顔あふれる地域として育てていきたいと思っております。

帖佐校区コミュニティ協議会 会長 竹下 敬喜

専門部のご紹介

○総務部

総務部長 脇園節夫

総務部としては、協議会の運営・連絡・広報など、各部と連携を図りながら帖佐校区コミュニティ協議会のスムーズな運営と地域の防災、環境美化に取り組んでいきたいと思っています。

○青少年育成部

青少年育成部長 大山幸雄

青少年育成部では、安心安全な地域作りに専念して住み良い、又明るい校区になるように努力する覚悟です。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

行事及び活動報告

- ・青少年健全育成に関すること
- ・帖佐っ子を育てる会（年4回）
- ・校外補導・あいさつ声かけ運動（市と協賛）
- ・あいさつ 標語 カレンダー作成
- ・青少年健全育成看板（各自治公民館）
- ・小中学校校門裏門 安全看板
- ・小中学校緑化協力
- ・健康増進部協賛
- ・八幡神社浜下り協賛
- ・見守り隊 年間登下校 市内巡回

○地域福祉部

地域福祉部長 垂水 武彦

近年、少子高齢化や核家族化が急速に進む中、高齢者の孤独死の問題など、地域における住民同士のつながりが希薄化しているように思います。こうした中、校区コミュニティ協議会の活動をはじめ、住民主体による地域福祉活動の果たす役割はますます重要になると思います。地域福祉部の活動が住民のみなさまに広く理解され、多くの方が地域福祉活動に積極的に参加・協力されることを心からお願いいたします。

・地域福祉部活動報告

10月15日（日）福祉委員研修会19名参加

やすらぎの里各施設を訪問

あじさい園を訪問 障害福祉サービス事業所（船津）

・今後の活動

●赤い羽根募金運動の協力

10月1日から12月31日まで募金活動期間として実施

●若葉学園主催グラウンドゴルフ大会

11月21日（土）9：00～12：30の予定

若葉学園の児童、自治会長、福祉委員、白寿会の皆様



○健康増進部

健康増進部長 若松榮二郎

健康増進部では地域の男女、子供から大人、シルバー全ての年代の人が気楽に参加できるスポーツ大会を開催します。お金は貯めることは出来ますが、健康や体力は蓄積することは出来ません。スポーツを楽しみながら体力の向上や各年代との交流、親睦を図り地域の皆様の健康増進のために貢献したいと思います。

・健康増進部活動報告

8月23日(日) ソフトボール大会(帖佐グラウンド)

優勝 青葉台 準優勝 高樋

9月19日(日) 秋季グラウンドゴルフ大会(帖佐グラウンド)

一般の部 22チーム、ファミリーの部 3チーム参加

一般の部～優勝 高樋A、 準優勝 みさと台B、 3位 青葉台B

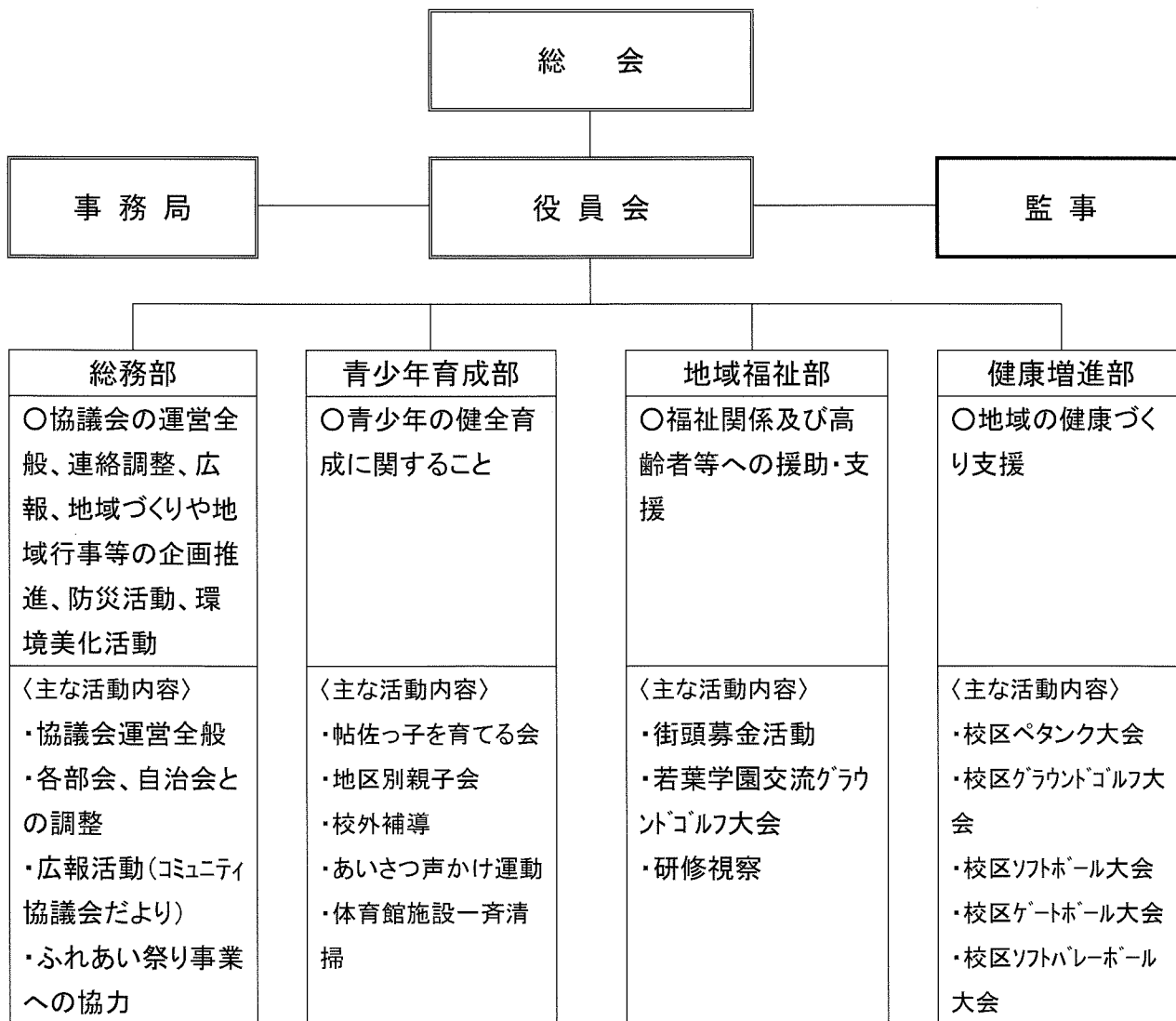
(高樋、みさと台チームは始良スポーツクラブ主催、市大会へ出場)

ファミリーの部～優勝 青葉台ファ、 準優勝 上麓ファ、 3位 高樋ファ

・今後の活動計画

11月29日(日) ゲートボール大会(宇都公園)

帖佐校区コミュニティ協議会組織図



帖佐校区コミュニティ協議会

○役員は次のとおりです

会長 竹下 敬喜

副会長 瀬戸口 健

会計 大重 洋二

事務局長 中尾 洪

総務部長 脇園 節夫

青少年育成部長 大山 幸雄

地域福祉部長 垂水 武彦

健康増進部長 若松 榮二郎

監事 川畑 洋海

監事 岩下 操

事務局だより

帖佐校区公民館の図書室内に帖佐校区コミュニティ協議会事務所を設けています。

住所 始良市鍋倉六四六―三

電話 0995―73―7584

FAX 0995―73―7590

開設日時 月・水・木 9時～17時

職員 コミュニティ支援員

八牟禮 みどり

※お気軽にお立ち寄りください。

パソコン・複写機など事務用備品も整っています。

編集後記

今年度中は旧組織の延長という形で発足した帖佐校区コミュニティ協議会も既に三ヶ月余りが経過しました。まだ歩きは遅々としており、校区の皆様にとっては新しい組織の中で活動しているという実感がわいてきていないというのが正直なところではないでしょうか。

情報発信の不足も理由のひとつ。創刊号として今回お届けしました帖佐校区コミュニティ協議会の広報紙「ふれあい帖佐」をはじめ、いろいろな機会に活動の様子をお知らせしていきたいと思えます。